

春日神社



もくじ

宮司挨拶／祭典ごよみ／夏季大祭
夏越大祓式・茅の輪神事のご案内
雅楽演奏会／トピックス／婚礼より

社報 春日神社

第四十一号

発行日 令和6年6月10日
発行所 〒870-0031
大分市勢家町4-6-87
春日神社 宮司 宮本隆之
TEL.097-532-5638
題字 東郷平八郎

ご挨拶

宮司 宮本 隆之

先ず以って聖寿の萬歳と皇室の弥栄をご祈念申し上げます。

天皇后陛下におかせられましたは来る六月二十二日より二十九日の間、英国を御訪問遊ばされます。当社では御出発の当日に御渡航行幸啓安泰祈願祭を斎行致し、御無事にお戻りなられることを御祈念申し上げます。また今秋十一月には第四十三回全国豊かな海づくり大会が大分市と別府市を会場に開催され、両陛下の行幸啓の由承っております。御即位後初の御来県であり、県民挙ってお迎え申し上げたく存じます。

さて、当社附属団体である蓬萊雅楽会が、平成二年の発会から三十五年を迎える本年、去る六月一日に大分市能楽堂にて記念演奏会を開催致しました。当日は用意した五百席が満席となる盛況ぶり、来場されたお子様からご年配までの幅広い世代の方々には、日々研鑽を積む会員の演奏を堪能して頂けたのではないかと存じます。現在三十余名の会員が在籍し、週に一度の練習をおこなっています。これを機会に雅楽に興味を持ち、入会する方が増えることを望んでおります。

このように雅楽を含め千年以上続く伝統文化を次代へと受け継ぐということは容易なことではありません。そこには並々ならぬ人々の努力が要ります。当社最大の行事である夏越大祭の神輿巡行や子ども神輿もまた同様です。当社大神輿は府内藩主松平候より拝領されたもので、夏の神輿巡行は「お町出」とも称され、城下町を威勢よく練り歩く賑々しい祭りでありました。この伝統ある神事を絶やすことなく、本年も氏子青年会を中心に準備を進めております。何よりも祭りは地域の皆様と共に作りあげるものです。皆様方には是非ともご参加ご協力下さいますようお願い申し上げます。

季節はいよいよ梅雨に入ります。報道によりますと今年は例年以上の降雨量になり、夏場は更に高温が予想されるということです。くれぐれも健康にご留意いただきまして、この暑い夏を乗り越えて参りましょう。

祭典ごよみ

六月三十日 水無月 大祓式

七月十八日 夏季大祭 宵祭

こども神輿巡行

七月十九日 夏季大祭 夏越大祭

神輿巡行

九月二十五日 撰社 天満社祭

十月十八日 秋季大祭 宵祭

十月十九日 秋季大祭 神幸祭

潮搔き神事

十一月十五日 七五三祭

※当日に限らず、毎日祈願祭を奉仕しています

十一月二十三日 新嘗祭

十二月三十一日 師走大祓式・除夜祭

毎月一日・十五日は月次祭

夏季大祭

七月十八日(木)

こども神輿巡行

午後四時 宵 祭

午後四時四十五分出御

(雨天時は二十日に順延)

十九日(金)

神輿巡行

午前十一時 夏越大祭

午後二時出御、午後九時還御



当社祭典の中で一番規模の大きい行事である夏越大祭。氏子青年会では会長並びに総先導を中心に四月より神輿会議を開始。本番に向けて現在準備を執り進めております。昨年同様、神輿の担ぎ手が少ないことが予想されます。氏子町内で取りまとめをおこなっておりますので、ご参加の程お願い申し上げます。

尚、巡行路につきましては七月上旬に神社ホームページにて掲載致しますのでご確認ください。

※両日とも庄内神楽の奉納が行われます。
(午後五時、午後九時)

奉燈

100基の
立て燈籠

各企業・崇敬者のご協力により境内や参道には例年通りの「奉燈」が灯されます。夜には火袋に明かりが灯され、幽玄な世界へと誘います。

どうぞご参拝の上ご覧いただきたいと存じます。



水無月（夏越）の大祓式

茅の輪神事のご案内

一年のちようど半分にあたる六月三十日は、この半年の間に知らず知らずして身についた罪穢れを祓い除いて、無病息災・厄難消除を祈る神事「大祓式」が全国の神社でおこなわれます。この日、神職の手により一本一本選り分けられたみずみずしい茅と青竹で作られた「茅の輪」が本殿前に設けられ「茅の輪神事」と呼ばれる行事が執り行われます。

特に水無月の大祓式は「夏越の大祓」とも呼ばれ、

水無月の夏越の祓いする人は

千歳の命延ぶというなり

という古歌に歌い継がれているように、茅の輪をくぐることによって、元気に暑い夏を乗り切るとともに、新たに迎える半年をさわやかにまた清らかに過ごしていこうとする、私たちの祖先の生活の知恵とも言わべきものです。

この水無月の大祓式は、茅の輪をくぐることで悪い流行り病から命を守るためにも行われてきました。この神事を受け、病気に負けない心と体を整えて過ごしてまいります。

期間ならびに数量限定で

社頭にて頒布いたします。

夏越大祓特別祈願符



茅の輪御守



○期間 六月三十日 午後四時～

○初穂料 八百円

※ご用意数が無くなり次第に頒布を終了します。

夏越大祓限定御米印



○期間 六月三十日～七月十九日（夏季大祭）

○初穂料 五百円

夏越大祓 祈願祭

今年も一般希望者を対象とした大祓祈願祭を下記の通りに斎行致しますので、ご都合に合う日時をご確認の上、ご来社になり、お祓いをお受けください。



一、祭典日時

六月三十日(日)

- ・午後四時 ・午後四時三十分
- ・午後五時 ・午後五時三十分
- ・午後六時

七月一日(月)

- ・午後四時 ・午後五時
- ・午後六時

七月六日(土)

- ・午後三時 ・午後四時
- ・午後五時

七月七日(日)

- ・午後二時

一、申込受付

・混雑を避けるため、先行予約をおこなっております。社務所までお問い合わせください。

・当日申込は各開始日時の十五分前までです。

・先着四十六名を超える場合はお待ちいただき、右設定時間に連続して執行致しますことをあらかじめご了承ください。

一、初穂料

お一人様(代表者) 三千元

※お連れのご家族様はお一人様一千元となります。

〔例〕四人家族の場合 代表者 三千元
他三名 三千元 合計 六千元

※初穂料は当日、授与所での受付時にお納めください。

一、当日の流れ

- ① 祭典前に受付にて人形(ひとがた)に氏名を記入
- ② 神職による大祓詞奏上、切麻・大麻によるお祓い
- ③ 茅の輪くぐり
- ④ 御本殿にて祈願祭参列
- ⑤ 撤下品(おさがり)授与
- ⑥ 終了

※祭典は神職により執り進められます。所要時間は約三十分です。

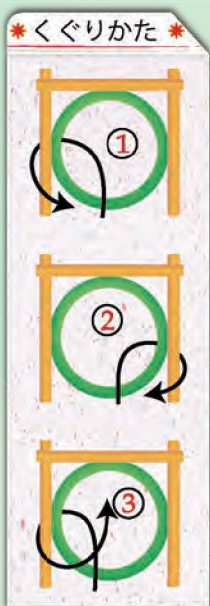
茅の輪の起源 蘇民将来のおはなし

その昔、旅の途中で宿が見付からず困っている神様がいました。神様は、蘇民将来、巨旦将来という兄弟に宿を貸してほしいと頼みました。しかし弟の巨旦将来は、裕福な暮らしをしていたのに断り、兄の蘇民将来は貧しい暮らしをしていましたが、神様に宿を貸して食事を提供しませんでした。

そして数年が経ち、再び蘇民将来のところにその神様が訪れてきました。自分は「スサノオ」という神である事を伝え、あの時のもてなしの御礼に『もしも疫病が流行した時は、茅の輪を腰に付けば逃れられるだろう』とお教えになりました。すると数年後、その地域で疫病が流行したとき、茅の輪を腰に付けた蘇民将来の家族だけは助かったそうです。

(備後国風土記・二十二社註式(祇園社)、蘇民将来説話)

茅の輪のくぐり方



左まわり・右まわり・左まわりと、8の字を書きように三度くぐり抜けます。そうすると身も心も清らかに祓われると云われています。

蓬萊雅楽会

設立三十五年 記念演奏会

平成二年の設立から三十五年目にあたる本年、大分市能楽堂との共催にて六月一日（土）に記念の演奏会が開催されました。この日は約五百名の参観者が来場され、始めに会長の宮本宮司から「コロナ禍で三年間の練習のブランクがあったが、宮内庁楽部の先生方を迎え一年間をかけて仕上げてきました。今後も雅楽を通じて我が国の美しい伝統文化を広く伝えてゆきたい」と挨拶。

演奏では、管絃「黄鐘調音取」「海青楽」「越天楽」と舞楽「陵王」「落蹲」、最後は全会員が舞台上に上がり「平調音取」「越天楽」を披露しました。





春 陵王

舞台上を活発に動きまわる走舞の代表的な演目です。

北斉の蘭陵武王・高長恭の逸話にちなんだ曲で、眉目秀麗な名将であつた蘭陵王が優しげな美貌を獐猛な仮面に隠して戦に挑み見事大勝したため、兵たちが喜んでその勇士を歌に歌ったことが曲の由来とされています。

①「小乱声」(こらんじょう)、②「陵王乱序」(りょうおうらんじょ)、③「沙陀調音取」(さだちょうのねとり)、④「当曲」、⑤「安摩乱声」(あまらんじょう)という曲で全体が構成されています。

演目のご紹介

春 落蹲

龍が楽しげに遊び戯れる様子を表したものといわれ、古くから『陵王』の番舞として頻繁に演じられてきました。

構成としては前奏曲である ①「高麗小乱声(こまこらんじょう)」、演目の中心「当曲」である ②「破」、③「急」からなります。

最後は早いリズムの「急」の演奏が続く中、舞人は退出していきます。





神社庁 風俗舞研修会

五月二十二日、神社庁平成大嘗祭主基地方風俗舞研修会が当社を会場に開催されました。



本研修会は従来であれば宮内庁楽部の先生をお招きして、隔年で実施していましたが、本年は四十歳未満の若手神職で構成する県神道青年会を中心にし、初心者の育成を目的に開催。講師として当社より山本禰宜、妻垣権禰宜が指導にあたりました。半日間という短い時間での研修ではありましたが、それぞれが熱心に取り組んでいました。六月十四日には玖珠町瀧神社での豊稷祈願祭にて今回受講した参加者を中心に奉納されます。

異業種交流会を開催

去る五月十二日、参集殿を会場に「心を掴む！好かれる人の話し方コミュニケーションセミナー」と題しての異業種交流会が開催され、幅広い年齢層、様々な職種の男女五十名を超える方々にご参加いただきました。

第一部では㈱アドコンセプト代表飯田裕美氏を講師に迎え、他者との良好な関係性を構築し、会話を円滑に進め交流ができるよう実践を交えたセミナーがあり、続いて第二部の交流会では早速学びを活かして、積極的にコミュニケーションを取り、



参加者たちは新しいご縁をつなぐことができましたようです。

参加者からは「コミュニケーションの大事さを改めて知りました」「色々な職種の方との交流は楽しかったです」など多くの感想をいただきました。

神あかり式

千火の結

ちよのゆい

(一日一組限定)

かつて挙式といえは

その多くが夕刻から夜にかけて

執り行われていました

月明りに照らされた境内

ほのかに照らされた灯りに導かれ

幻想的な雰囲気の中

二人が永遠の誓いを立てます

期間 十月～五月（一月を除く）

時間 午後五時以降（日没の時間を考慮）

※雨天時の場合は儀式殿にて執り行います

※挙式三日前までであれば日程変更可能です

※詳しくは婚礼係までお問い合わせください

(Tel) 〇九七-五三二-五六三八